

プログラム

日時 令和元年11月16日(土)
13:00~17:00 (受付12:00~)

12:00~13:00 会場受付 入場無料

13:00~13:10 開会

開会あいさつ 石川県済生会金沢病院 院長 横川 明男

理事長あいさつ 済生会 理事長 炭谷 茂

13:10~14:10 基調講演

「当事者から見える支援」
～生活保護利用体験から生活困窮者支援について考える～

●講師 生活保護問題対策全国会議 幹事
和久井 みちる氏
(元生活保護利用者)

14:10~14:20 休憩

14:20~16:40 シンポジウム

「人が人を支援するということ」
～当事者主体の支援を考える～

●コーディネーター
金沢大学人間社会学域地域創造学類 非常勤講師 馬渡 徳子氏

●シンポジスト
金沢市福祉局生活支援課 主査 三和 直人氏
金沢市地域包括支援センターくらすき 管理者 池本 明子氏
石川県済生会金沢病院 医療ソーシャルワーカー 北村 友香理氏
NPO法人金沢あすなろ会 理事長 三井 美千子氏
NPO法人シェキラリ 理事 大谷 幸代氏

16:40~16:55 ディスカッション

17:00 閉会

会場へのアクセス



※会場には駐車場はございません。できるだけ公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

金沢駅からバスをご利用の方

香林坊方面行きのバスをご利用ください。「南町・尾山神社」下車、徒歩2分。

お車・タクシーでお越しの方

金沢西インターから20分
金沢東インターから20分
金沢駅から7分



●周辺の有料駐車場 石川県文教会館HP
<http://www.bunkyo.or.jp/basic/parking28.html>

飛行機でお越しの方

小松空港
⇒ 小松空港リムジンバス
⇒ 香林坊(東横イン前)



●小松空港リムジンバス 北鉄バスHP
<http://www.hokutetsu.co.jp/airport-bus>

宿泊案内

今回の開催にあたって、(株)近畿日本ツーリスト中部金沢支店にご協力いただき、宿泊先をいくつか確保していただきました。宿泊をご希望される方は、石川県済生会金沢病院HPから「宿泊案内」「申込書」をお取りいただき、(株)近畿日本ツーリスト中部金沢支店へお申し込みください。

●宿泊案内・申込書
石川県済生会金沢病院HP <https://saiseikaikanazawa.jp/>

●お申し込み・お問い合わせ
(株)近畿日本ツーリスト中部 金沢支店
〒920-0901 金沢市彦三町1-2-1 アソルティ 金沢彦三3階
「第8回生活困窮者問題シンポジウム」事務局 中西・田中(浩)・杉山
Tel 076-232-0571 Fax 076-232-3228 [営業日] 月～金、9:15～18:00



第8回 生活困窮者問題シンポジウム

人が人を支援するということ ～当事者主体の支援を考える～



日時：令和元年 11月16日(土)
13:00~17:00

場所：石川県文教会館ホール

〒920-0918 石川県金沢市尾山町10番5号 Tel 076-262-7311

入場
無料

主催：社会福祉法人 済生会支部石川県済生会
後援：石川県、金沢市、石川県社会福祉協議会、金沢市社会福祉協議会
石川県民生委員児童委員協議会、石川県社会福祉士会、石川県医師会
石川県看護協会、石川県医療ソーシャルワーカー協会
石川県精神保健福祉士会、石川県介護支援専門員協会

お申し込み・お問い合わせ

社会福祉法人恩賜財団済生会支部石川県済生会

石川県済生会金沢病院 経営企画調整室
Tel 076-266-1060(代) Fax 076-266-1070
✉ symposium@saiseikaikanazawa.jp

in Kanazawa



テーマと目的

「人が人を支援するということ」 ～当事者主体の支援を考える～

生活困窮者が抱える問題は人それぞれであり、貧困のみならずさまざまな要因が背景にある。また、今なお、支援の手が届かず、家族や地域社会からも孤立している生活困窮者も多い。

今回は、自らも当事者としての経験をお持ちの方と、さまざまなフィールドで当事者が抱える問題と向き合っている方々のお話から、当事者主体の支援について考える機会としたい。

ごあいさつ

社会福祉法人 恩賜財団 済生会 **炭谷 茂** 理事長

済生会では、生活困窮者への支援、地域医療への貢献、総合的な医療・福祉サービスの提供に積極的に取り組んでいます。

社会の福祉ニーズが、量的に増大し、質的に困難化している中、本日は、当事者の人権を重視した「当事者主体の支援」について、皆様とご一緒に考えてみたいと思います。

基調講演

「当事者から見える支援」 ～生活保護利用体験から 生活困窮者支援について考える～

生活保護問題対策全国会議 幹事
講師 和久井 みちる 氏
(元生活保護利用者)

大学卒業後、障がい者・高齢者等の介護・支援に関わり、その後、自治体の福祉事務所勤務を経て、生活保護問題や路上生活者支援、生活困窮者等の支援に関わる市民活動の現場へ。途中、DV被害にて離婚。うつ病を発症し、3年余り生活保護制度を利用。現在は回復し、相談・支援の現場で就労中。

シンポジスト

コーディネーター

金沢大学人間社会学域地域創造学類 非常勤講師 **馬渡 徳子** 氏

大学卒業後、大阪府内の総合病院にて、精神科ソーシャルワーカーを1年。昭和59年4月、結婚のため石川県に転居し、石川民医連内の公益社団法人の医療ソーシャルワーカー・介護支援専門員として33年勤務。異動にて、金沢市地域包括支援センターかみあやにて、認知症地域支援推進員を2年半。金沢大学では、人間社会学域地域創造学類の非常勤講師を10年務める傍ら、大学院人間社会環境研究科地域創造学専攻博士前期課程に在学している。

シンポジスト

生活保護行政からの 生活困窮者支援について

金沢市福祉局生活支援課 主査
三和 直人 氏

病院のソーシャルワーカーとして勤務した後、平成23年度に金沢市へ福祉職として入庁。こども総合相談センター（児童相談所）の児童福祉司を経て、平成27年度に生活支援課に異動し、生活保護ケースワーカーとなる。平成29年度から現職。

地域で出会う生活困窮の実際と その支援について

金沢市地域包括支援センターくらつき 管理者
池本 明子 氏

看護師として病院、訪問看護、在宅介護支援センターと医療現場や地域の相談支援業務に従事した後、平成18年より金沢市地域包括支援センターくらつきに勤務。地域の身近な相談窓口として介護予防、高齢者にかかわる問題等に相談支援している。

医療の場から見る 生活困窮者支援について

石川県済生会金沢病院 医療ソーシャルワーカー
北村 友香理 氏

大学卒業後、社会福祉士、精神保健福祉士として、精神科病院で勤務。その後、石川県済生会金沢病院に入職し、病気を患ったことに伴う、患者さんやご家族の「生活の事情」に応じてかわかることを大切にした支援を行ってきた。現在、回復期リハビリテーション病棟の専従ソーシャルワーカーとして従事。

当事者として、また支援者としての立場から

NPO法人金沢あすなろ会 理事長
三井 美千子 氏

土木設計事務所を経営していたが、不況の煽りをうけて廃業し、商工ローンの被害者となる。その経験を活かし、多重債務問題に取り組む金沢あすなろ会の相談員として活動。昨年、理事長に就任。炊き出しや居住場所づくりにも取り組み、コミュニティハウス「金沢みんなのいえ」や「自立準備ホーム」を立ち上げる。自殺防止活動として、24時間365日稼働の電話相談活動にも従事。

自立援助ホームから見える 問題と支援について

NPO法人シェきらり 理事
大谷 幸代 氏

児童自立支援施設を振り出しに、2017年まで福岡県の自立援助ホームに携わり、2017年より、石川県にて自立援助ホーム開設のため「NPO法人シェきらり」の理事として、開設準備から関わり現在へ。